

■旗を振る人も、時間的・場所に安全が確保されていない状況では直ちに避難します。



地震だ、津波だ、すぐ避難!

「より高いところ」を目指して逃げよう!



津波避難ビル



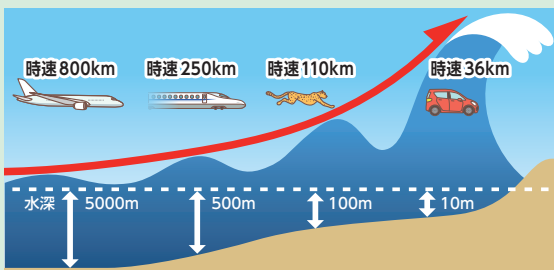
津波避難場所

海岸付近で地震の揺れを感じたり津波警報等が発表されたら、
ただちに高い場所に急いで避難しましょう。



車を利用した場合、渋滞などにより円滑に避難できない場合があります。原則、**徒歩**で避難しましょう。

テレビ、ラジオ、スマホ等により、最新の情報を確認しましょう。



津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。地震による揺れが無い場合や揺れを感じにくい場合にも大きな津波が来襲する可能性もあります。

目指すところは、**避難所**ではなく**避難場所!**

沿岸沿いにお住まいの方や旅行される方は、「津波ハザードマップ」で「津波の避難場所」等を確認しておきましょう。また、日頃からいろいろな場合を考えて、避難経路やいざという時の行動などを周りの人と話し合っておくことが大切です。

(避難所はその後の避難生活を送るための場所なので、切迫した災害の危険から逃れるための避難場所とは違います。)

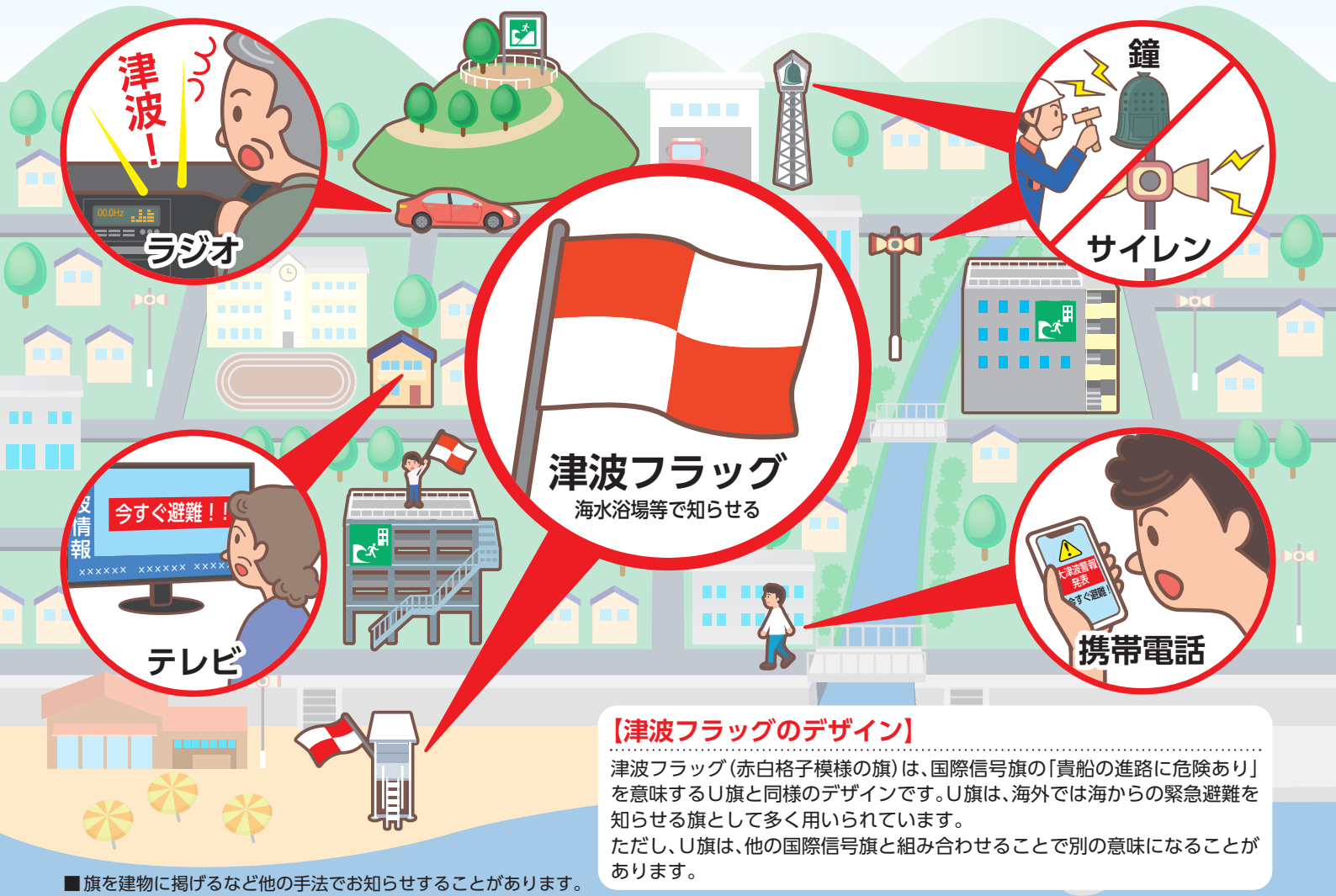


津波警報等が出たら

知る手段

津波警報等※は、テレビやラジオ、携帯電話等で知ることができます。知る手段に、令和2年夏より新しく「津波フラッグ」が加わります。海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。

※津波警報等は、大津波警報・津波警報・津波注意報の総称です。



【津波フラッグのデザイン】

津波フラッグ(赤白格子模様の旗)は、国際信号旗の「賞船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。ただし、U旗は、他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります。

■ 旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

情報種類		津波注意報	津波警報	大津波警報		
予想される津波の高さ	定性表現	表記しない	高い	巨大		
	数値	1m (0.2m-1m)	3m (1m-3m)	5m (3m-5m)	10m (5m-10m)	10m超 (10m-)

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません！

津波避難誘導の標識の例



津波避難場所



津波避難ビル

津波浸水地域の標識の例



津波注意

津波警報等を伝える旗



津波フラッグ

内閣府 内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (調査・企画担当)
Cabinet Office

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
中央合同庁舎8号館
電話:03-5253-2111 (大代表) FAX:03-3501-6820
内閣府ホームページ: <http://www.bousai.go.jp/>

総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課
Fire and Disaster Management Agency

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2
中央合同庁舎2号館
電話:03-5253-5111 (代表) FAX:03-5253-7535
消防庁ホームページ: <https://www.fdma.go.jp/>

気象庁 地震火山部管理課 地震津波防災対策室
Japan Meteorological Agency

〒100-8914 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話:03-3212-8341 (代表) FAX:03-6689-2917
(耳の不自由な方向け)
気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp/>